

経済振興委員会報告資料

鴻臚館跡展示館展示リニューアルに係る
展示物製作・設置等業務委託契約の締結について

令和8年9月
経済観光文化局

鴻臚館跡展示館展示リニューアルに係る 展示物製作・設置等業務委託契約の締結について

I 契約概要

委託件名	鴻臚館跡展示館展示リニューアルに係る展示物製作・設置等業務委託	
委託概要	○国史跡に指定されている「史跡鴻臚館跡」の展示館の展示リニューアルに係る展示物製作・設置等業務委託 ・鴻臚館跡展示館 建築面積 1,188.75㎡ 常設展示室床面積 928.5㎡ 鉄骨造平屋造	摘要（別途委託）
委託場所	福岡市中央区域内I	
委託期間	令和8年6月15日から令和9年3月26日	
契約方法	特命随意契約	
業者選定方法	公募型プロポーザル方式	
開札年月日	令和8年6月9日	
契約年月日	令和8年6月15日	
落札者	株式会社トータルメディア開発研究所	
契約金額	440,000,000円（うち消費税及び地方消費税相当額40,000,000円）	
予定価格	440,000,000円（うち消費税及び地方消費税相当額40,000,000円）	
提案限度額	450,000,000円（消費税及び地方消費税額含む）	

【参考】参加者一覧

区分	名称	備考
地場外	株式会社トータルメディア開発研究所	

2 選定審査委員会 委員名簿

所属	氏名	専門分野
経済観光文化局文化財活用部 文化財活用課長	田村 真紀子	文化財の整備・活用
経済観光文化局文化財活用部 埋蔵文化財センター所長	中村 啓太郎	文化財の活用・保管 (文化財専門職・考古学)
経済観光文化局観光コンベンション部 地域観光推進課長	椎木 茂圭	観光推進
経済観光文化局博物館 学芸課長	杉山 未菜子	資料の展示・調査研究 (文化学芸職・美術史)
九州国立博物館 福岡県立アジア交流センター展示課長	岸本 圭	資料の展示・調査研究 (学芸員・考古学)

3 提案評価点の内訳

評価項目	評価基準	配点	審査 合計点	総合 得点
1 業務の実施方針等				
(1) 基本方針	・鴻臚館跡展示館における展示内容の目的等を理解しているか。 ・仕様書及び設計図書に沿った提案となっているか。	10	50	35
(2) 実施内容	・業務を遂行するにあたり、具体的な手順や考え方が示されているか。 ・コンテンツ完成までのイメージが具体的に提案されているか。	10	50	37
(3) 業務工程、スケジュール	・実施スケジュールは無理なく適切なスケジュールとなっているか。	15	75	57
2 提案内容				
(1) 映像投影プログラムの 構築	・様々な投影パターンが想定されており、かつ分かりやすい操作性となっているか。 ・映像機器の使用を十分に活用したプログラム構成となっているか。	20	100	78
(2) 館内の安全対策	・展示物の設置場所等を含め、空間における総合的なプランが提案されているか。	10	50	38
(3) 観覧プラン等	・展示物を製作・設置する目線から、ユニバーサルデザインの対応や来館者をおもてなしする提案がなされているか。	15	75	58
(4) 保守・メンテナンス	・対応年数や緊急時の柔軟な対応などが提案されているか。	10	50	41
3 実施体制				
(1) 業務従事者の業務実施 能力	・業務遂行責任者や管理者等について、業務遂行可能な知識(資格)を持つ者が配置されているか。	5	25	20
(2) 類似の業務実績	・これまでの業務実績を本業務に十分に活用することが見込まれるか。	5	25	23
合 計		100	500	387

【審査基準】審査配点の中間値を普通(要件を満たす)とし、中間値未満を(不十分である)、中間値以上を(優れている)とする。

【選定基準】総合点が6割(300点)に満たない場合は当業務委託の選定対象としない。

【審査結果】各委員の採点でも得点は60点以上、総合点も6割以上となることから選定基準を満たしている。

(1) 鴻臚館跡展示館リニューアルについて

平成7年の開館から約30年が経過し、この間に蓄積された調査研究の成果を発信するため、映像などのデジタルコンテンツ等の活用による、子どもや観光客が理解しやすい展示へのリニューアルを進めている。展示は最新の研究成果を反映し、展示館の目玉である遺構露出展示と連動した臨場感ある映像コンテンツや、没入感を演出したコーナー構成などで歴史ストーリーを解説するもの。(令和8年10月より休館し、令和9年春リニューアル完了予定)

(2) 本業務委託における業務内容

① 展示物製作・設置業務

展示物製作(展示ケース20か所・グラフィック50か所・多言語案内サインなど)、
情報コンテンツ製作(プログラム開発・多言語化)、館内新規壁面の設置、展示資料調整、
復元建物の修繕、電源および照明設備の更新、音響システム構築と機材設置
館内通路整備とバリアフリー化(車いす等用昇降機)、既存展示物の解体・撤去など
※展示資料数 90点から140点に増加予定、グラフィック数 20か所から50か所に増加

② 映像コンテンツに付随する業務

大型スクリーン設置、大型スクリーン用プログラムの開発など

③ 館内の防犯・安全対策

監視カメラの設置、安全な導線の検証など

④ 展示物製作・設置業務に付随する業務

展示資料に基づく歴史ストーリーシナリオ検証、展示資料運搬、資料展示補助、など

⑤ 保守・メンテナンス(管理計画など) ほか

遺構露出展示範囲の保守・補強によるメンテナンスなど

(3) リニューアル後の各コーナーの展示コンセプト

① プロローグ(鴻臚館の紹介)

② 映像で理解する、鴻臚館の発見(発見ストーリー)

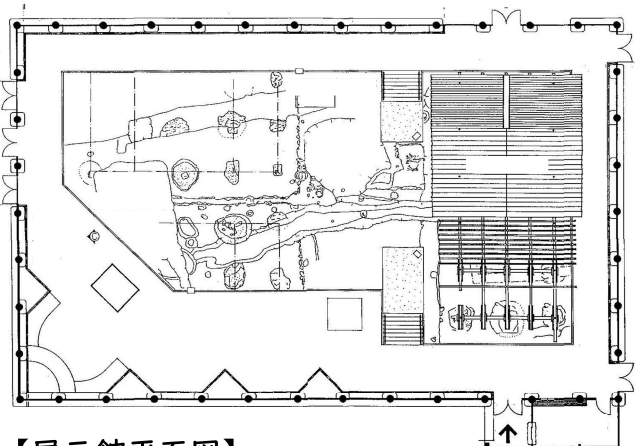
③ 多彩な出土遺物が語る、鴻臚館の歴史(鴻臚館の変遷)

④ 没入感ある映像で綴る古代の人々(往時の様子)

⑤ 過去から現在、未来へと続く鴻臚館の役割(重層性と現代)

(4)リニューアル前・後の展示構成

リニューアル前



【展示館平面図】

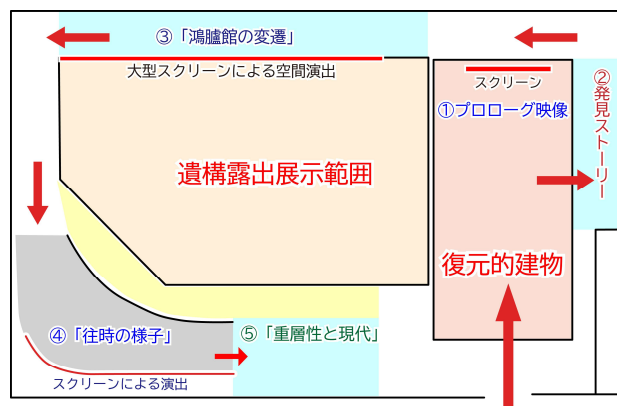
当時、発見されたばかりの「鴻臚館の概要を知る」ことをメインテーマとした展示内容で構成される。



【遺構露出展示を中心とした展示】

遺構の露出展示見学をメインとし、復元建物や出土遺物の補助展示で鴻臚館を説明する。

リニューアル後(予定)



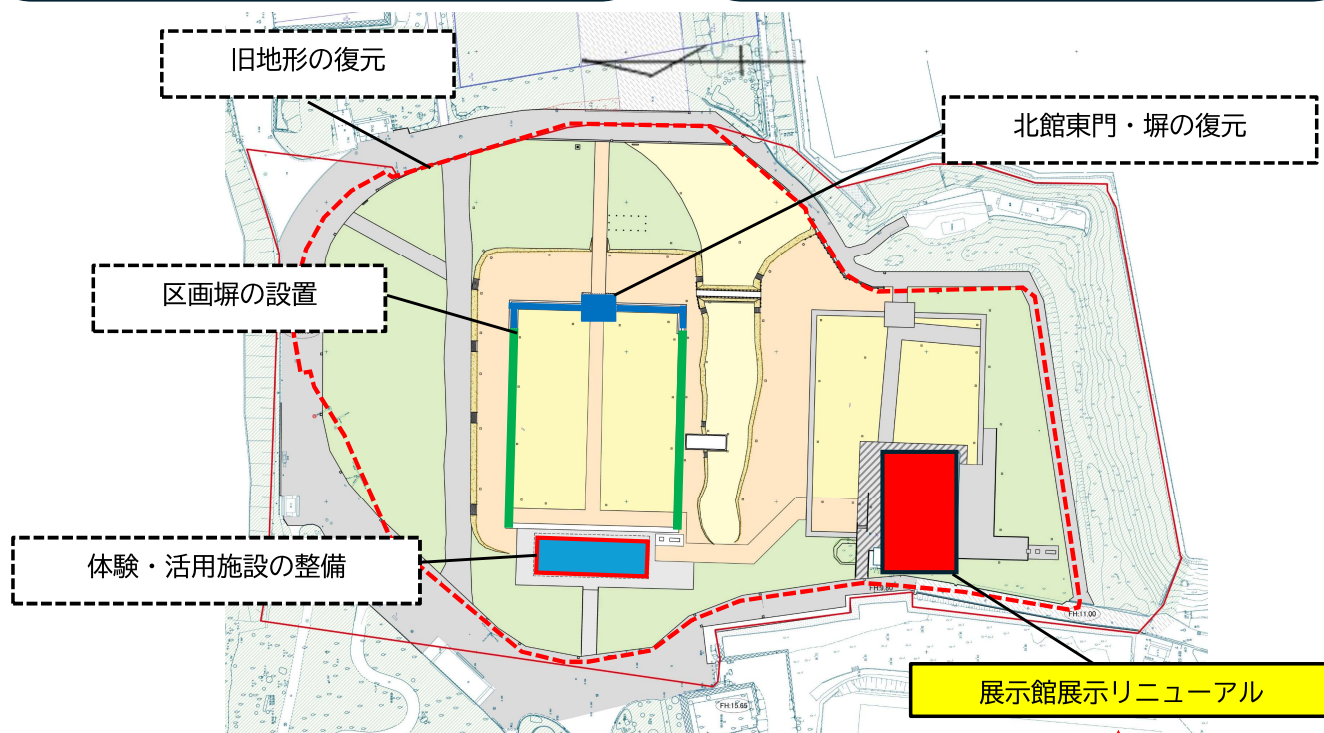
【展示館平面図】

遺構露出展示を見ながら進み、鴻臚館の発見から時代的な変遷を、最新成果に基づいた映像や多彩な資料で解説し、鴻臚館の歴史ストーリーを深く知る。



【映像を用いた展示解説の充実】

プロローグ映像をはじめ、大型スクリーンでも臨場感ある映像により空間演出を行うことで、鴻臚館が果たした歴史的役割を印象付ける。



鴻臚館跡整備・活用事業 概要(令和7年~9年度実施)

今回報告